

# 製品取扱説明書

Since 1976



**CHEMIX Co.,Ltd.**  
**ケミックス株式会社**

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-51-14

【用途】 土木専用剤に開発。複合法により地下漏水に的確に止水する。

1. 一般名 無機質浸透・反応性、劣化・吸水防止剤
2. 規格 社内規格
3. 特徴 ハイドロダインSHは、ハイドロプルーフHT-SPの特性を更に進化させ、内部の遊離アルカリと化学的に反応。また骨材中を移動する水分に溶け出した、カルシウム塩などに化学的に反応する。ハイドロダインGHや高炉スラグとの混練りは、止水に絶大な効果があり、施工部位に影響なく施工が出来る。実績として毎分20リットル以上の地下水の漏水をハイドロダイン工法で止水しました。

**HYDROPROOF®**  
**HyroDyne SH**  
ハイドロダインSH

## 4. 一般性状

項目	内容
主成分	アルカリ金属塩＋珪酸化合物 ＋高反応性無機触媒
容姿	1液性
荷姿	20kg入り・2kg入り
色相	無色透明又は半透明液体
光沢	なし
密度	1.05～1.18g/ml (20℃)
粘度	3mPa・s 以下
溶媒	水
P H	12.0～12.5 (強アルカリ性)
表面張力	25～35dyn/cm (20℃)

## 6. 施工上の注意

1. 珪酸塩系ですので施工前に下地を湿らせます。
2. ハイドロダインが付着した部分はすぐに濡れたウエス等で拭き取って下さい。
3. 熱源や直射日光で施工面が50℃以上の場合、たっぷり水をかけて冷やすか日陰部分から塗布して下さい。
4. 冬、施工時が常温であっても夜間に0℃若しくはマイナスになる場合は強制乾燥を行って下さい。
5. 塗布面のオイル・グリース・離型剤等を取り除く事ができ無い場合はその周辺より浸透させてください。
6. 塗布方法は特に選びません。躯体に充分含浸させることが重要です。
7. 開封後は速やかに使い切ってください。開封後の残剤は容器中の空気と化学反応を起こすので使い切ってください。短期的保存の場合は水分・ゴミ等が混入しない様にし、小さい容器に移し替え内部の空気を少なくしフタを密封、子供の手の届かない所に保管して下さい。また特に使用残分を元の容器に戻さないで下さい。
8. 塗布後の余剰分や残留分は、必ずよく洗った布で拭き取ってください。拭き取りが甘かったり材質によっては白い斑点が出る場合があります。
9. 万一、目に入った場合は大量の水で洗い、医師に相談するようお願い致します。
10. 0℃以下での保存及び施工は行わないで下さい。
11. 凍結した材料の使用しないで下さい。

## 5. 塗装基準

項目	内容
洗浄	新設、補修工事とも塗布面の洗浄を行う。
養生	施工面以外、飛散の恐れのある所は、基本的に養生をする。特にガラス、アルミ、植栽等に付着しない様、出来る範囲で行う。
塗布	一般的な塗布量は0.12～0.25kg/m <sup>2</sup> だが防水目的の場合はこの限りではない。ローラー、ハケ、噴霧器で平均0.20kg/m <sup>2</sup> は塗布。施工面にグリースや油、塗料の一部などが固着していても機能上問題がなければ塗布可能。
乾燥	乾燥養生が長い程、強度が増す。

## 7. 関連法則

危険物表示	該当無し
溶剤区分	無機溶剤
有害物質表示	該当無し

## 8. 使用上の注意[警告]

特別危険性はなく施工上の注意を厳守。

## 9. F☆☆☆☆について

「フォスター」の表示は、塗料や内装材、建材で、「ホルムアルデヒドの放散量の性能区分を示す為」に新たに表示する義務が定められたものです。F☆☆☆☆(Fフォスター)は、JIS工場で生産されるJIS製品に表示することが義務づけられているホルムアルデヒド等級を示すマークです。ハイドロプルーフは塗料ではなく、水性無機化合物の劣化保護及び防水剤です。有害化学物質に指定されたシロアリ駆除剤のクロルピリホス及び、シックハウス症候群に関するホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・ステレンの1+5種類を有害規制薬物に指定。従って有機化合物であるホルムアルデヒドは含まれていないため F☆☆☆☆に該当しません。

## 10. VOCについて

VOCとは、Volatile Organic Compounds の略で揮発性有機化合物のことをいいます。WHOでは大気中に気体で存在する有機化合物のうち、沸点が50℃～260℃の物質の総称と定義されています。上記有機溶剤に関しては非該当です。